

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場取引所 東名

上場会社名 株式会社今仙電機製作所

コード番号 7266 URL <http://www.imasen.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 増谷 修

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 坪内 明

TEL 0568-67-1211

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	53,454	△25.8	3,293	△21.9	3,206	△18.4	1,646	△28.8
21年3月期第3四半期	72,023	—	4,217	—	3,930	—	2,313	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	93.47	84.47
21年3月期第3四半期	129.98	117.45

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	57,777	27,788	46.6	1,525.92
21年3月期	53,725	26,001	46.7	1,423.63

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 26,911百万円 21年3月期 25,075百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	8.00	18.00
22年3月期	—	7.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	10.00	17.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,600	△17.6	3,800	3.0	3,700	34.1	2,000	32.8	113.40

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	17,851,154株	21年3月期	17,828,429株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	214,654株	21年3月期	214,612株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	17,615,358株	21年3月期第3四半期	17,801,325株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、輸出や生産に持ち直しの傾向がみられるものの、雇用情勢の悪化や海外経済の下振れ懸念など景気の下押しリスクもあることから、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

一方、世界経済においては米国及び欧州経済は政策効果もあり下げ止まり傾向となり、アジア経済は中国では内需を中心に回復基調となるなど、金融危機により悪化した景気は一部で持ち直しの動きをみせておりますが、実体経済は依然として厳しい状況で推移しました。

自動車業界におきましては、環境対応車などは比較的好調に推移しましたが、国内市場の回復は依然として厳しい状況となっております。また、海外市場においても中国やインドでは成長が見えるものの、米国市場は依然として本格的な回復に至らず今後も暫くは厳しい状況が続くものと推測されます。

このような経営環境の中で当社グループは、固定費の削減、生産体制の見直し、内製化、合理化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期の売上高は53,454百万円（前年同期比25.8%減）、経常利益は3,206百万円（前年同期比18.4%減）、四半期純利益は1,646百万円（前年同期比28.8%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 自動車部品関連事業

自動車部品関連事業につきましては市場の回復には至らず、売上高は50,566百万円（前年同期比25.5%減）、営業利益は3,227百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

(b) ワイヤハーネス関連事業

工作機械関連機器向けの売上が大幅に減少したことから、売上高は1,433百万円（前年同期比43.3%減）、営業損失は40百万円（前年同期は198百万円の利益）となりました。

(c) 福祉機器関連事業

電動車いすの売上が比較的好調に推移したことから、売上高は804百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は111百万円（前年同期比37.3%増）となりました。

(d) 自動車販売関連事業

自動車販売は、依然として厳しい受注状況にあり、売上高は649百万円（前年同期比25.9%減）、営業損失は20百万円（前年同期は37百万円の損失）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

(a) 日本

国内市場や輸出の落ち込みなどにより、売上高は34,711百万円（前年同期比25.1%減）となりましたが、固定費削減の効果などにより営業利益は2,514百万円（前年同期比10.4%増）となりました。

(b) 北米

北米市場の低迷により、売上高は6,603百万円（前年同期比42.7%減）、営業損失は213百万円（前年同期は138百万円の利益）となりました。

(c) アジア

中国では比較的好調に回復基調に至りましたが、他の地域では受注減少の影響を受け、売上高は12,139百万円（前年同期比14.3%減）、営業利益は959百万円（前年同期比47.2%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

当第3四半期末における総資産は、57,777百万円（前期末比4,052百万円の増加）となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加（5,713百万円）などにより、32,431百万円（前期末比5,583百万円の増加）、固定資産は、有形固定資産の減少（2,190百万円）などにより、25,345百万円（前期末比1,531百万円の減少）となりました。

(ロ) 負債

当第3四半期末における負債は、29,988百万円（前期末比2,264百万円の増加）となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の増加（2,138百万円）などにより、21,121百万円（前期末比3,238百万円の増加）、固定負債は、長期借入金の減少（491百万円）などにより、8,867百万円（前期末比973百万円の減少）となりました。

(ハ) 純資産

当第3四半期末における純資産は、四半期純利益1,646百万円、その他有価証券評価差額金の増加（399百万円）などにより、27,788百万円（前期末比1,787百万円の増加）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期において営業活動の結果得られた資金は、3,113百万円（前年同期比20.0%減）、投資活動に使用した資金は、483百万円（前年同期比87.7%減）、財務活動に使用した資金は、1,562百万円（前年同期比44.4%増）となりました。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は5,638百万円と前連結会計年度に比べ1,079百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3,113百万円の増加となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が3,110百万円、減価償却費が3,374百万円であったこと、仕入債務の増加額が2,167百万円、売上債権の増加額が5,755百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、483百万円の減少となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が529百万円であったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,562百万円の減少となりました。これは主として、長期借入金の返済による支出が784百万円、リース債務の返済による支出が604百万円であったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

通期（平成21年4月1日から平成22年3月31日）の連結業績予想につきましては概ね計画通り推移しており、平成21年10月29日に公表しました予想から変更はございません。

なお、これらは当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出については、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

2. 法人税等の納付税額の算定方法

法人税等の納付税額の算定については、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,938	4,898
受取手形及び売掛金	20,447	14,734
たな卸資産	4,560	4,867
その他	1,486	2,351
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	32,431	26,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,095	7,481
機械装置及び運搬具（純額）	6,670	7,789
その他（純額）	8,055	8,739
有形固定資産合計	21,820	24,011
無形固定資産		
その他	287	279
無形固定資産合計	287	279
投資その他の資産		
投資有価証券	2,900	2,271
その他	373	351
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	3,237	2,587
固定資産合計	25,345	26,877
資産合計	57,777	53,725
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,025	9,887
1年内償還予定の社債	283	—
短期借入金	3,037	3,231
未払法人税等	1,123	74
賞与引当金	457	936
その他	4,194	3,753
流動負債合計	21,121	17,883
固定負債		
社債	3,500	3,803
長期借入金	2,100	2,592
退職給付引当金	1,821	1,872
その他	1,444	1,573
固定負債合計	8,867	9,840
負債合計	29,988	27,723

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,406	4,396
資本剰余金	4,139	4,129
利益剰余金	18,780	17,397
自己株式	△107	△107
株主資本合計	27,218	25,816
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	950	550
為替換算調整勘定	△1,257	△1,291
評価・換算差額等合計	△307	△741
少数株主持分	876	925
純資産合計	27,788	26,001
負債純資産合計	57,777	53,725

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	72,023	53,454
売上原価	61,859	45,412
売上総利益	10,163	8,041
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	2,463	1,729
給料手当及び賞与	1,617	1,436
賞与引当金繰入額	73	61
退職給付費用	60	60
減価償却費	65	61
その他	1,666	1,399
販売費及び一般管理費合計	5,946	4,748
営業利益	4,217	3,293
営業外収益		
受取利息	30	18
受取配当金	58	24
助成金収入	—	70
その他	136	111
営業外収益合計	226	225
営業外費用		
支払利息	138	126
為替差損	318	151
その他	56	34
営業外費用合計	513	312
経常利益	3,930	3,206
特別利益		
固定資産売却益	0	2
補助金収入	53	25
その他	1	—
特別利益合計	55	27
特別損失		
固定資産処分損	212	53
投資有価証券評価損	197	69
特別損失合計	410	122
税金等調整前四半期純利益	3,576	3,110
法人税、住民税及び事業税	878	1,359
法人税等調整額	310	99
法人税等合計	1,189	1,458
少数株主利益	73	6
四半期純利益	2,313	1,646

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,576	3,110
減価償却費	3,494	3,374
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△124	△50
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△664	△478
受取利息及び受取配当金	△89	△43
支払利息	138	126
投資有価証券評価損益 (△は益)	197	69
固定資産処分損益 (△は益)	211	50
売上債権の増減額 (△は増加)	△847	△5,755
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△450	328
仕入債務の増減額 (△は減少)	△122	2,167
その他	997	△22
小計	6,316	2,877
利息及び配当金の受取額	89	43
利息の支払額	△135	△124
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△2,380	317
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,890	3,113
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	55	41
有形固定資産の取得による支出	△3,568	△529
有形固定資産の売却による収入	16	44
投資有価証券の取得による支出	△337	△22
その他	△95	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,930	△483
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3	△40
長期借入れによる収入	500	151
長期借入金の返済による支出	△880	△784
リース債務の返済による支出	—	△604
配当金の支払額	△338	△264
少数株主への配当金の支払額	△34	—
その他	△324	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,081	△1,562
現金及び現金同等物に係る換算差額	△181	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,303	1,079
現金及び現金同等物の期首残高	4,217	4,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,914	5,638

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	自動車部品 関連事業 (百万円)	ワイヤー ハーネス 関連事業 (百万円)	福祉機器 関連事業 (百万円)	自動車販 売関連事 業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	67,851	2,528	767	875	72,023	—	72,023
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	4	4	(4)	—
計	67,851	2,528	767	880	72,027	(4)	72,023
営業利益又は営業損失(△)	3,960	198	81	△37	4,203	14	4,217

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	自動車部品 関連事業 (百万円)	ワイヤー ハーネス 関連事業 (百万円)	福祉機器 関連事業 (百万円)	自動車販 売関連事 業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	50,566	1,433	804	649	53,454	—	53,454
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1	2	—	1	5	(5)	—
計	50,568	1,435	804	650	53,459	(5)	53,454
営業利益又は営業損失(△)	3,227	△40	111	△20	3,278	14	3,293

(注) 1 事業区分の方法は、製品の種類別区分によっております。

2 各事業の主な製品

- | | |
|------------------|---------------------|
| (1) 自動車部品関連事業 | 機構製品、電装製品 |
| (2) ワイヤーハーネス関連事業 | 航空機用及び工作機械用ワイヤーハーネス |
| (3) 福祉機器関連事業 | 電動車いす、義手、義足 |
| (4) 自動車販売関連事業 | 新車及び中古車販売、自動車修理 |

3 会計処理方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法に比べ、自動車部品関連事業において72百万円当第3四半期連結累計期間の営業利益が減少しております。

4 追加情報

前第3四半期連結累計期間

(有形固定資産の耐用年数の変更)

第1四半期連結会計期間より機械及び装置の耐用年数を変更しております。これにより、従来の方法に比べ、自動車部品関連事業において284百万円、ワイヤーハーネス関連事業において5百万円、福祉機器関連事業において0百万円それぞれ当第3四半期連結累計期間の営業利益が減少しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	46,325	11,528	14,169	72,023	—	72,023
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	11,758	1	1,410	13,169	(13,169)	—
計	58,083	11,529	15,579	85,193	(13,169)	72,023
営業利益	2,276	138	1,819	4,234	(17)	4,217

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	34,711	6,603	12,139	53,454	—	53,454
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,777	0	660	9,438	(9,438)	—
計	43,489	6,604	12,799	62,892	(9,438)	53,454
営業利益又は営業損失(△)	2,514	△213	959	3,260	32	3,293

(注) 1 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米 米国

(2) アジア 台湾、フィリピン、中国、タイ、インド

3 会計処理方法の変更

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法に比べ、日本において72百万円当第3四半期連結累計期間の営業利益が減少しております。

4 追加情報

前第3四半期連結累計期間

(有形固定資産の耐用年数の変更)

第1四半期連結会計期間より機械及び装置の耐用年数を変更しております。これにより、従来の方法に比べ、日本において290百万円当第3四半期連結累計期間の営業利益が減少しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	北 米	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	11,585	15,472	1,119	28,176
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	72,023
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	16.1	21.5	1.5	39.1

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	北 米	アジア	その他	計
I 海外売上高（百万円）	6,607	15,126	93	21,827
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	53,454
III 連結売上高に占める海外売上高の割合（%）	12.3	28.3	0.2	40.8

(注) 1 国または地域の区分の方法は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

- (1) 北米 米国、カナダ
- (2) アジア 台湾、フィリピン、中国、タイ、インド
- (3) その他 英国、イタリア

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間まで営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「助成金収入」（前第3四半期連結累計期間 0百万円）は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書)

1. 前第3四半期連結累計期間まで財務活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示しておりました「リース債務の返済による支出」（前第3四半期連結累計期間 △324百万円）は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。
2. 前第3四半期連結累計期間まで財務活動によるキャッシュ・フローに区分掲記しておりました「少数株主への配当金の支払額」（当第3四半期連結累計期間 △20百万円）は、当第3四半期連結累計期間より「その他」に含めて表示しております。